

2022 年度 東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻入試案内 補足情報（2021 年 8 月 3 日版）

この文書は「2022 年度東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻入試案内」の 2021 年 8 月 3 日時点での補足情報をまとめたものである。今後さらなる補足情報を都市工学専攻ウェブサイトに掲載する場合があるので、ご注意頂きたい。

以下、赤字の箇所は 2021 年 7 月 1 日版の補足情報から追加・変更された事項である。

■実施形式

現時点では筆記試験（専門科目）を対面形式で実施する予定である。新型コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑み、全ての受験者についてオンライン形式での実施に切り替える場合があるが、その際は 2021 年 8 月 10 日（火）までに受験者へ電子メールで通知する。

■入学試験日程

オンライン試験環境チェック（模擬試験）、筆記試験（専門科目）、口述試験は次の日程で実施する予定である。

- 1) 2021 年 8 月 27 日（金）13:00～ オンライン試験環境チェック（模擬試験）
- 2) 2021 年 8 月 28 日（土）10:30～ オンライン試験環境チェック（模擬試験・予備）
- 3) 2021 年 8 月 28 日（土）午後 筆記試験（専門科目）
13:00～15:00 (B) 都市工学専門
16:00～18:30 (C) 計画・設計・論文
- 4) 2021 年 9 月 2 日（木）13:00～ 口述試験（博士後期課程）
- 5) 2021 年 9 月 3 日（金）9:00～ 口述試験（修士課程）

なお、当初公開された入試案内ではオンライン試験環境チェック（模擬試験）を「全員参加必須」としていたが、これを次の通りに変更する。

- ・ 2021 年 8 月 27 日（金）午前 9 時までにはオンライン試験の受験を指示または許可された者は、上記 1) のオンライン試験環境チェック（模擬試験）に参加必須。
- ・ その後 2021 年 8 月 28 日（土）午前 9 時までにはオンライン試験の受験を指示された者は、上記 2) のオンライン試験環境チェック（模擬試験・予備）に参加必須。

ただし、全ての受験者についてオンライン形式での実施に切り替える場合は上記 1) の日程で全員参加必須となるので留意されたい。参加必須の対象者が 1)・2) のうち指定された

回に参加しない場合、受験資格を失うことがある。

■配点・形式・試験時間

各科目の配点と形式、試験時間は以下の通りである。

・ (A) 外国語 (100 点)

TOEFL iBT または TOEFL iBT Home Edition のスコア S から、以下の式で算出した値を点数 (0~100 点) とする。

$$\text{点数} = \min(\max((S-45) \times 2, 0), 100)$$

なお、TOEFL PBT または TOEFL ITP Plus for China のスコアを提出した者については、TOEFL iBT のスコアに換算した上で上記の式で点数を算出する。

・ (B) 都市工学専門 (500 点) 【試験時間：120 分】

専攻分野として都市環境工学を志望する者は入試案内にある①~⑦のうち5科目を、都市計画を志望する者は⑧~⑮のうち5科目を、それぞれ選択して解答する。専攻分野をまたがって解答することはできない。

・ (C) 計画・設計・論文 (200 点) 【試験時間：150 分】

専攻分野として都市環境工学を志望する者は入試案内の C-1・C-2 のうち1科目を、都市計画を志望する者は入試案内の C-3・C-4 のうち1科目を、それぞれ選択して解答する。

■筆記試験 (専門科目) 対面受験にあたっての注意事項

筆記試験 (専門科目) の対面形式での受験にあたり、試験日まで、試験日当日、試験終了後に注意すべき事項を、受験票送付時に案内する。筆記試験を受験する者は熟読し、指示に従うこと。

■筆記試験 (専門科目) オンライン受験の許可・指示

受験者のうち本人に基礎疾患があり、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高い者には、筆記試験 (専門科目) をオンラインで受験することを許可する場合がある。希望者は、都市工学専攻ウェブサイトからダウンロードできる「都市工学専攻専門科目 オンライン試験申請書」に必要事項を記入し、基礎疾患があることを示す診断書とともに、出願時に提出すること。アップロード提出する診断書の形式は、原紙をスキャンした pdf ファイルまたは鮮明な写真ファイルとする。本申請書の提出に基づくオンライン受験の可否は、受験票送付時に通知する。

個別の受験者の状況を勘案し、一部の受験者 (新型コロナウイルス感染症に罹患し試験日までに医師が治癒したと診断していない者、試験日前に保健所等から濃厚接触者に認定されている者、試験日前や当日に発熱・咳などの症状がある者等) に、自宅等からオンライン監視下で受験するよう指示する場合がある。対象者の具体的な要件と申請方法については、

受験票送付時に案内する。

一度オンライン受験を許可または指示された者が当日対面形式で受験することは認めない。

筆記試験（専門科目）のオンライン受験に必要な環境については、後日全ての受験者に通知する。全ての受験者が準備を行っておくこと。オンライン試験環境チェック（模擬試験）時は、試験当日と同じ部屋を使ってできるだけ同一の環境を整えておくことが望ましい。オンライン受験の対象者が試験当日にオンライン受験の準備を整えていなかった場合は、受験を認めない。

■その他

- ・ 筆記試験（専門科目）がオンライン受験になった場合も、リモート監視下での受験となる。従って、試験時間中に資料などを閲覧したり、内容について他者と接触・会話・情報交換等を行ったりすることは、対面形式の場合と同じく不正行為となる。また、対面形式の場合と同じく、試験開始後は解答が終わった場合でも、受験を放棄する場合でも、退室を許さない。
- ・ 修士課程出願者の「受験申告票」、博士後期課程出願者の「受験申告票・研究業績・研究計画」は、手書きでなく、都市工学専攻ウェブサイトからダウンロードできる様式を用いて電子ファイルとして作成したものを pdf 形式でアップロード、ならびに印刷して郵送提出するので構わない。
- ・ オンライン受験者の筆記試験（専門科目）および全受験者の口述試験に際して、公平性確保および不正防止の観点から、受験者の録画・録音を行う。

以上